



MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター



昨年5月撮影



撮影：CORY LUM

「四月の雨が五月の花を連れてくる」ハワイで生まれ育った私は、春の時期になるとこのフレーズをよく耳にしたものです。いっぱい花が咲くこの季節につき、ハワイのレイ文化をご紹介します。

観光客がハワイの空港に到着するとレイで迎えられるシーンがイメージしやすいですが、私の周りの人はお祝いごとにレイを贈ることが多いです。高校や大学の卒業式では、卒業生の顔が見えなくなるほどのレイを首にかけていきます。材料は花だけでなく、ククイナツ、キャンディー、お金なども使われ、ハワイ発祥のフラダンスにも不可欠なアクセサリです。手作りかどうかにかかわらず、レイは愛情表現として認識されており、生花のレイは長持ちしない、はかない贈り物だからこそ、大切な人にもらった時の喜びもより大きくなるのです。

5月1日は、ハワイでは90年以上もの歴史を持つ日で、アメリカ本土と違ってメーデーではなくレイデーと呼ばれています。レイやレイメーカー、ハワイアン文化を祝うために設けられたこの日には、レイデー・セレブレーションという祭典があります。レイ・コンテストが開催され、フラのパフォーマンスやハワイアンミュージックの生演奏も楽しめます。6月1日には板橋区立文化会館でハワイアンカルチャーを祝うMayDayイベントが開催されるらしいので、この機会にレイ文化に触れてみてください！